

プラスチック製品の表面ブリード物分析

フィルムや成形品の表面にブリード物が発生することがある。
このブリード物を明らかにすることで、不具合対策を講じることができる。

【フィルムや成形品の不具合】

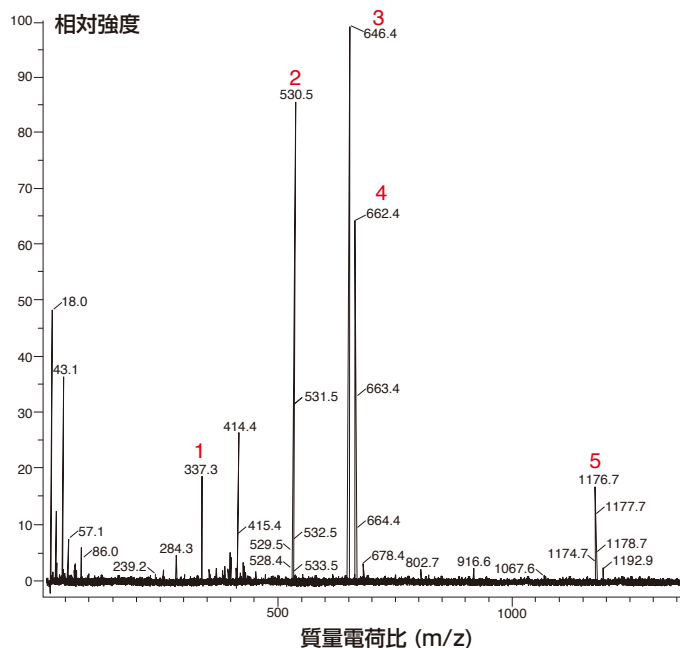
- 外観：白化、ブルーム、光沢異常、汚れ
- 物性：ヒートシール強度不足、ピール性不良
- 感触：ベタツキ、滑り異常



分析の流れ



分析例 フィルムブリード物のFD-MSによる定性分析



強く検出される分子イオン（分子量）よりブリード物を定性

1. エルカ酸アミド	スリッパ剤
2. Irganox™ 1076 <chem>CC(O)CC(OC(=O)C1=CC=C(C(C)(C)C)C=C1)C</chem>	酸化防止剤
3. Irgafos™ 168 <chem>C1=CC=C(C=C1)OC2C=CC(OC2)C3=CC=C(C=C3)OC4C=CC(OC4)C</chem>	酸化防止剤
4. Irgafos™ 168 酸化物	酸化防止剤
5. Irganox™ 1010 <chem>CC(O)CC(OC(=O)C1=CC=C(C(C)(C)C)C=C1)C</chem>	酸化防止剤

長年のポリマー分析経験を活かして、種々の分析方法をご提案
添加剤の標準品は約450種所有